

令和3年度 第1回釧路市総合教育会議

令和3年11月22日(月)午後3時～

「生きる力の育成の推進」 について

釧路市
釧路市教育委員会

『生きる力』とは

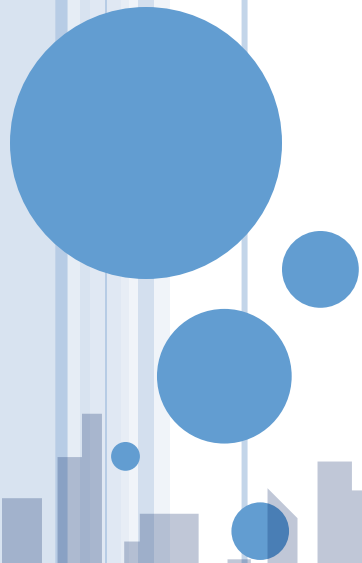
⇒⇒「**知・徳・体**」のバランスのとれた力のこと

◎ 変化の激しいこれからの社会を生きるために、
「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」の
「知・徳・体」をバランスよく育てることが大切

◎ 学校・家庭・地域が相互に連携し、
社会全体で取り組むことが不可欠



1. 学校で育む「生きる力」



全国学力・学習状況調査の結果

【釧路市】

単位%

単位%

小学校		国 語	算 数
全 国		64.7	70.2
全 道		63 [63.2]	67 [67.5]
釧路市立		66 [65.8]	68 [67.8]
全国 比較	R3	△ 1.1	▼ 2.4
全道 比較		△ 2.6	△ 0.3

中学校		国 語	数 学
全 国		64.6	57.2
全 道		65 [64.5]	56 [55.9]
釧路市立		63 [62.5]	53 [53.3]
全国 比較	R3	▼ 2.1	▼ 3.9
全道 比較		▼ 2.0	▼ 2.6

* R3.5.27実施

* 国は、北海道及び市の平均正答率を整数値で提供。

〔 〕内の小数値は、北海道教育委員会及び釧路市教育委員会が国から提供されたデータをもとに、それぞれ独自に算出した数値である。

なお、全国及び全道比較については、独自に算出した数値を比較したものである。

令和3年度 学力向上に向けた取組み

GOAL 釧路市内教員の授業力向上 = 児童生徒の学力向上

外国語教育アドバイザー事業

指導主事による学校訪問（複数回）

放課後学習サポート事業

授業マイスター 認定制度

- 年間を通じて認定
 - 4月から推薦受付、3月に認定、決定
 - 次年度以降、市内教員の授業改善に係る研修、指導・助言を行う。
- 大館市「授業マイスター」との交流

学力向上 推進委員会

- 授業改善に向けて、授業の優れた教員を招集
 - 月1回程度定例会議
 - 授業公開、授業提供
 - セミナーや研修会等における指導・助言
 - 学力検査分析、考察
 - 次年度以降は「授業マイスター」で構成
- 大館市との連携

授業スタンダード 授業評価

- 授業スタンダード（児童生徒用、教員用チェックリスト）
- 児童生徒においては授業に臨む姿勢の基本、教員においては授業づくりの基本を示し、自己評価
- 端末により児童生徒における授業評価

学力向上セミナー・センター講座等の実施

タフレットドリル等の活用

初任段階教員への授業提供・動画配信

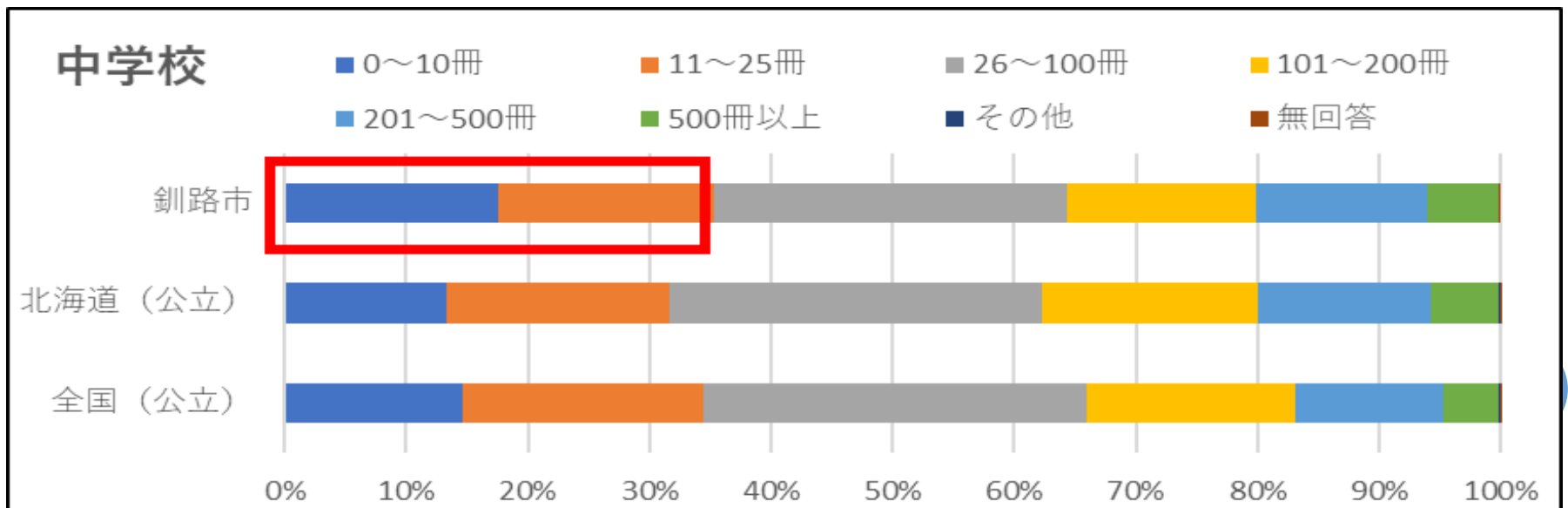
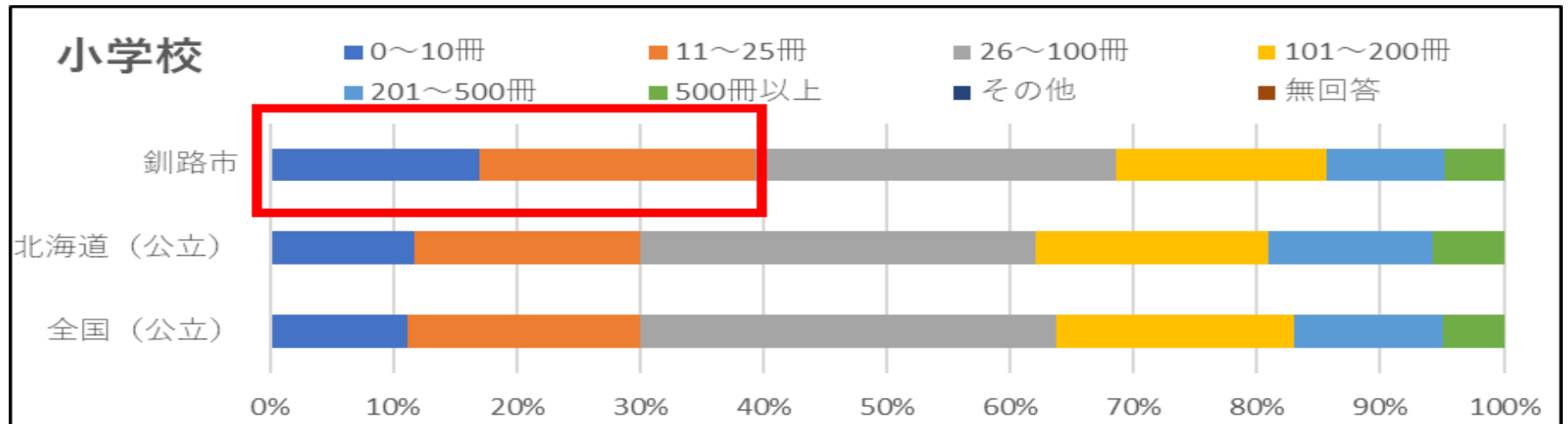
児童生徒の学びの連続性
＜小中連携＞

学校管理職のリーダーシップ

学力向上プランの確実な遂行

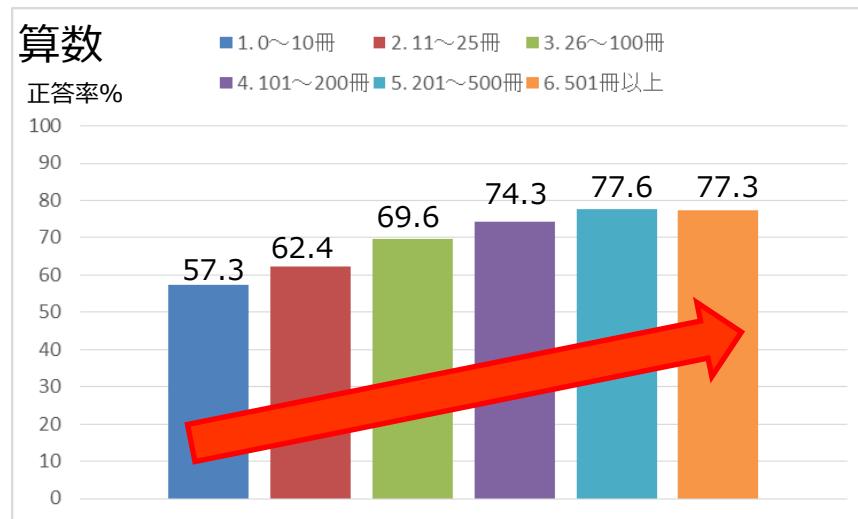
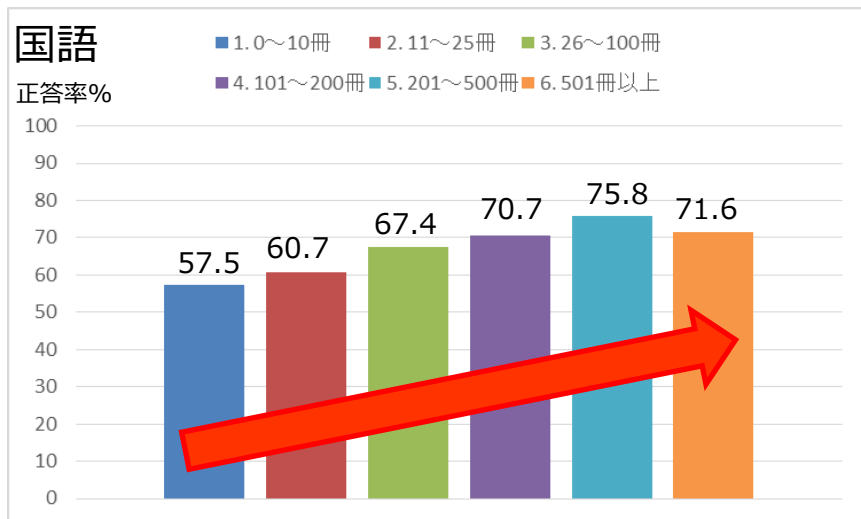
全国学力・学習状況調査の結果<質問紙①>

■ あなたの家には、およそどのくらい本がありますか。（一般の雑誌、新聞、教科書は除く）

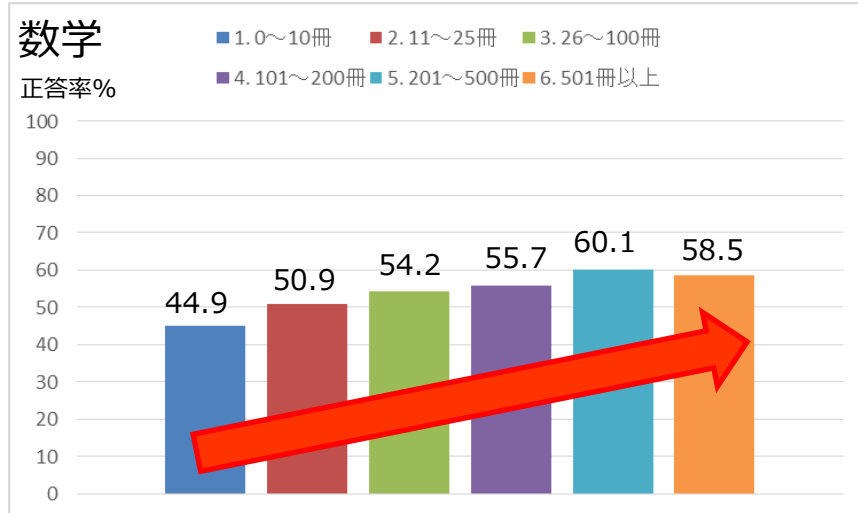
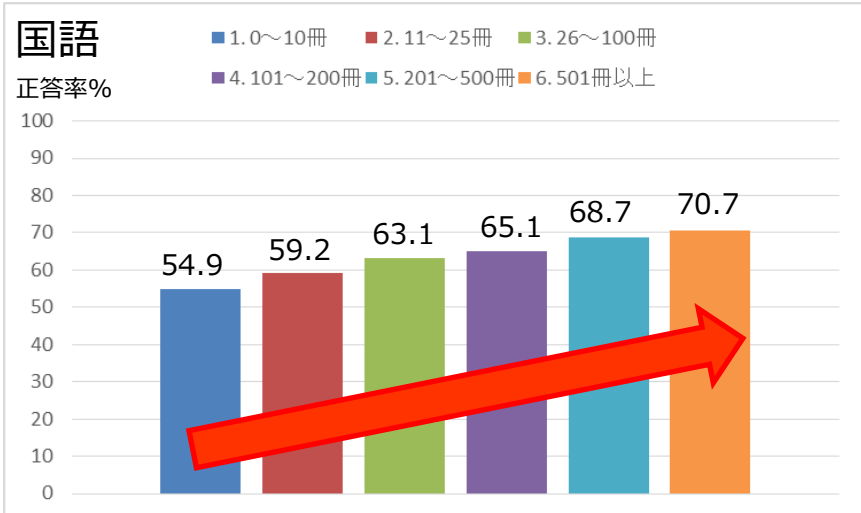


全国学力・学習状況調査の結果<質問紙①>

【小学校:学力とのクロス集計】 蔵書多い = 正答率高い

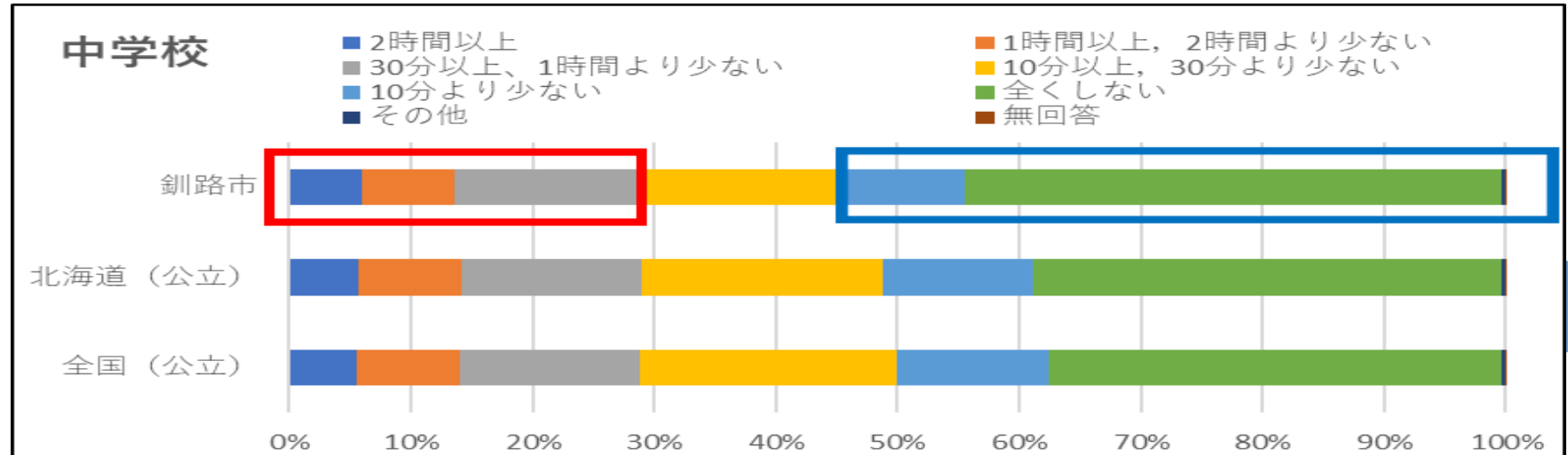
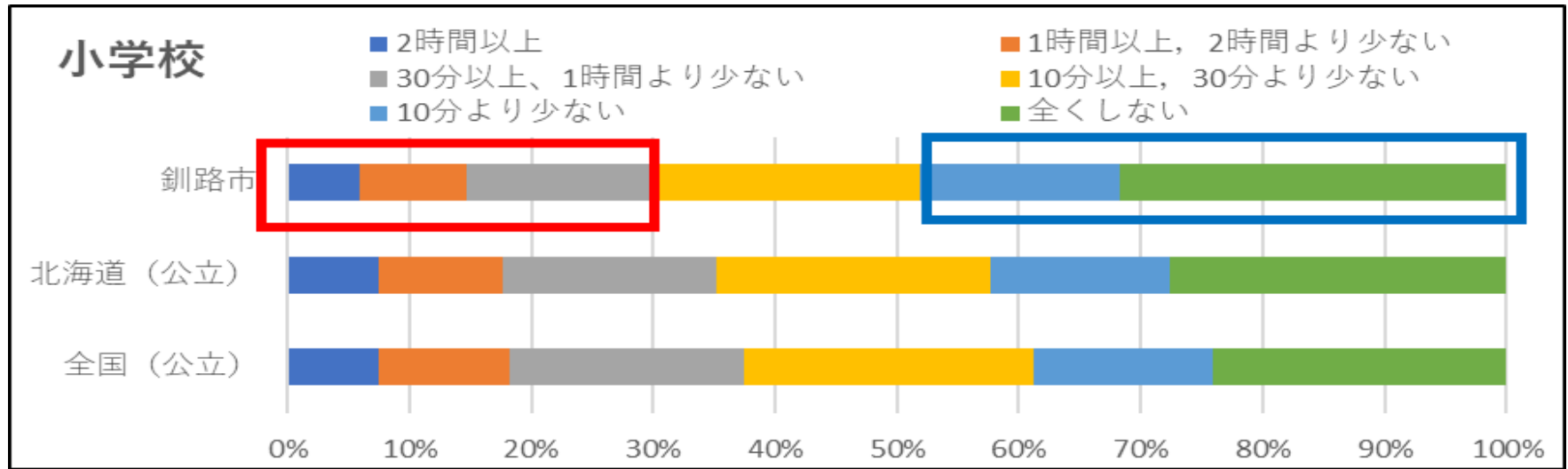


【中学校:学力とのクロス集計】 蔵書多い = 正答率高い



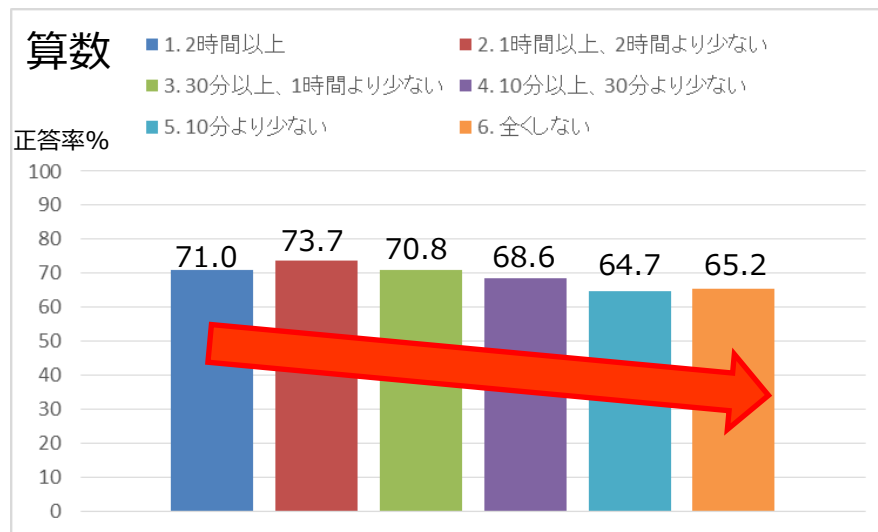
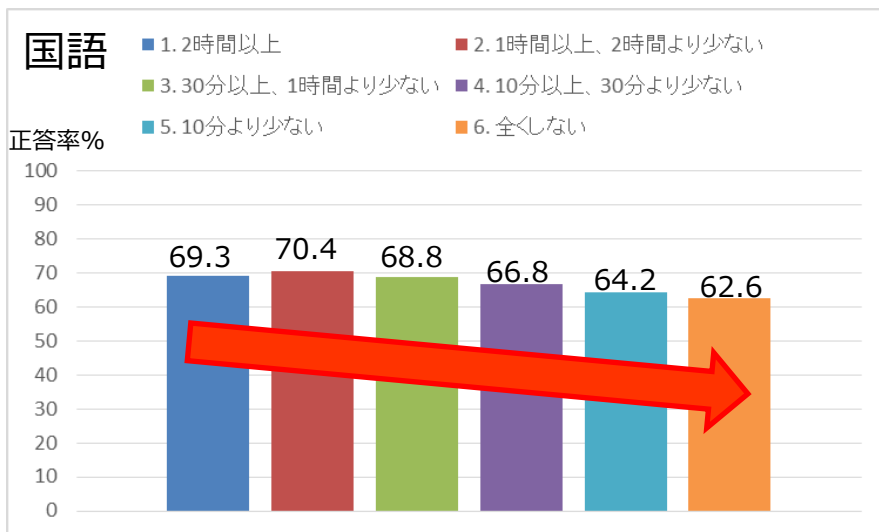
全国学力・学習状況調査の結果<質問紙②>

■ 学校の授業時間以外に、普段 1 日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか。
(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)

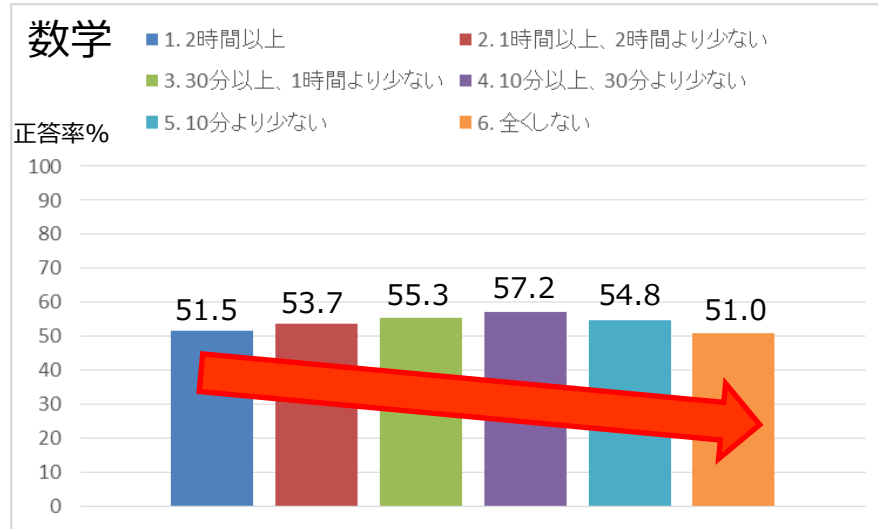
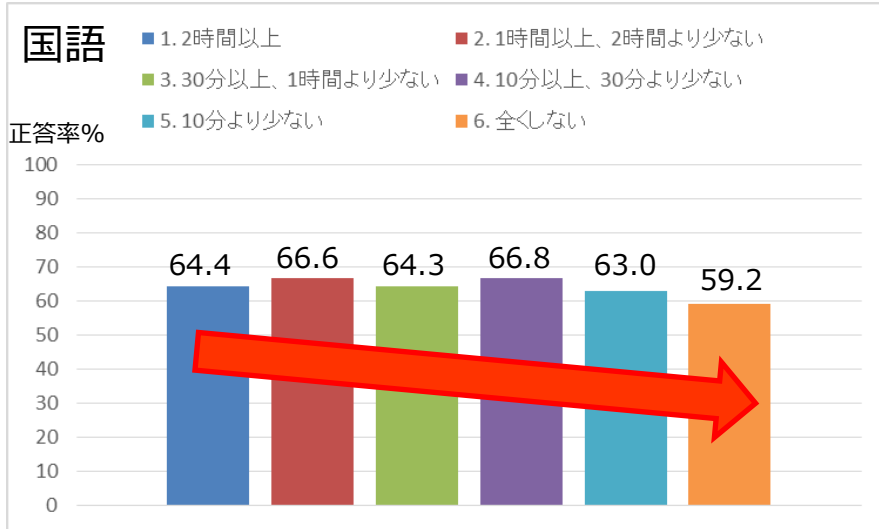


全国学力・学習状況調査の結果<質問紙②>

【小学校:学力とのクロス集計】 授業以外での読書量多い = 正答率高い



【中学校:学力とのクロス集計】 授業以外での読書量多い = 正答率高い



学校と図書館が連携した読書活動推進事業

図書館では、「釧路市図書館基本計画」や「釧路市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校連携支援事業として「学校ブックフェスティバル事業」「読書活動サポートセット貸出し事業」を推進。

学校ブックフェスティバル事業

「本や読書に親しむきっかけづくり」

対象：市内小中学校及び義務教育学校

内容：体育館に1,500冊程度の事業専用図書を持ち込み、1人3冊までの貸出、朗読会及び持込図書の長期貸出を行う。



読書活動サポートセット貸出事業

「学校図書館及び学校での読書活動の支援」

対象：市内全小学校及び義務教育学校前期課程

内容：小学校の国語の教科書掲載作品等を参考に整備した貸出セットと設置用書棚を半年間対象校へ貸し出す。



令和3年度 学校・家庭・地域と 共に考える教育懇談会

【R3.11.11開催】

テーマ:「子どもたちが本に親しむ環境づくり」

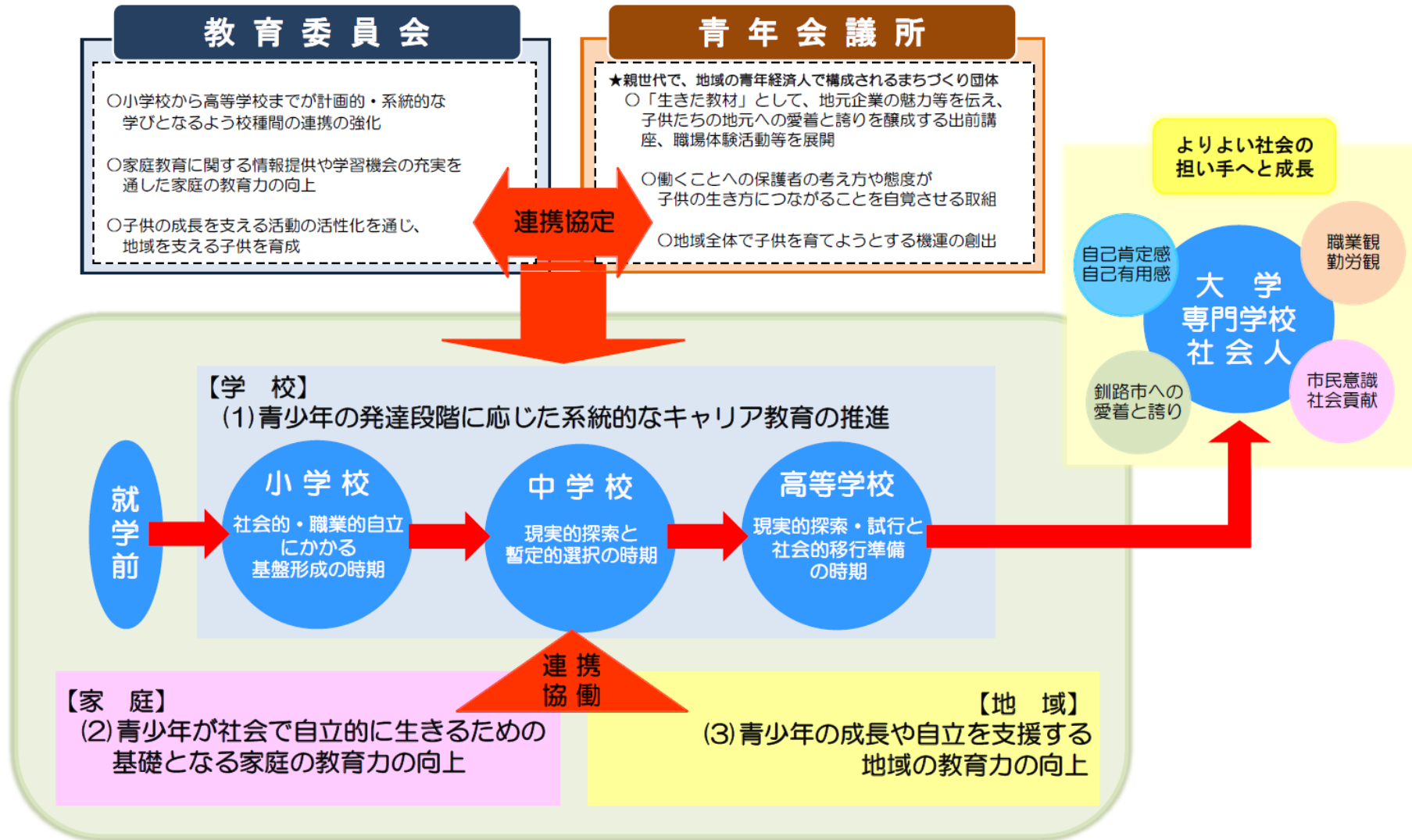


- ・ 中学校においても、朝読書を充実させたり、小学校の「読書活動サポートセット貸出事業」を導入するなど、読書環境づくりを推進する必要がある。
- ・ 子供と一緒に親も読書をするなど、家庭も含めた読書推進の取組みを検討するべきである。

学校・家庭・地域の連携による「読書環境づくり」の機運向上

キャリア教育の推進

【H30.12.19 市教委と釧路青年会議所(JC)との連携協定】



令和3年度 キャリアシンポジウム 「ふるさと釧路で働くということ」

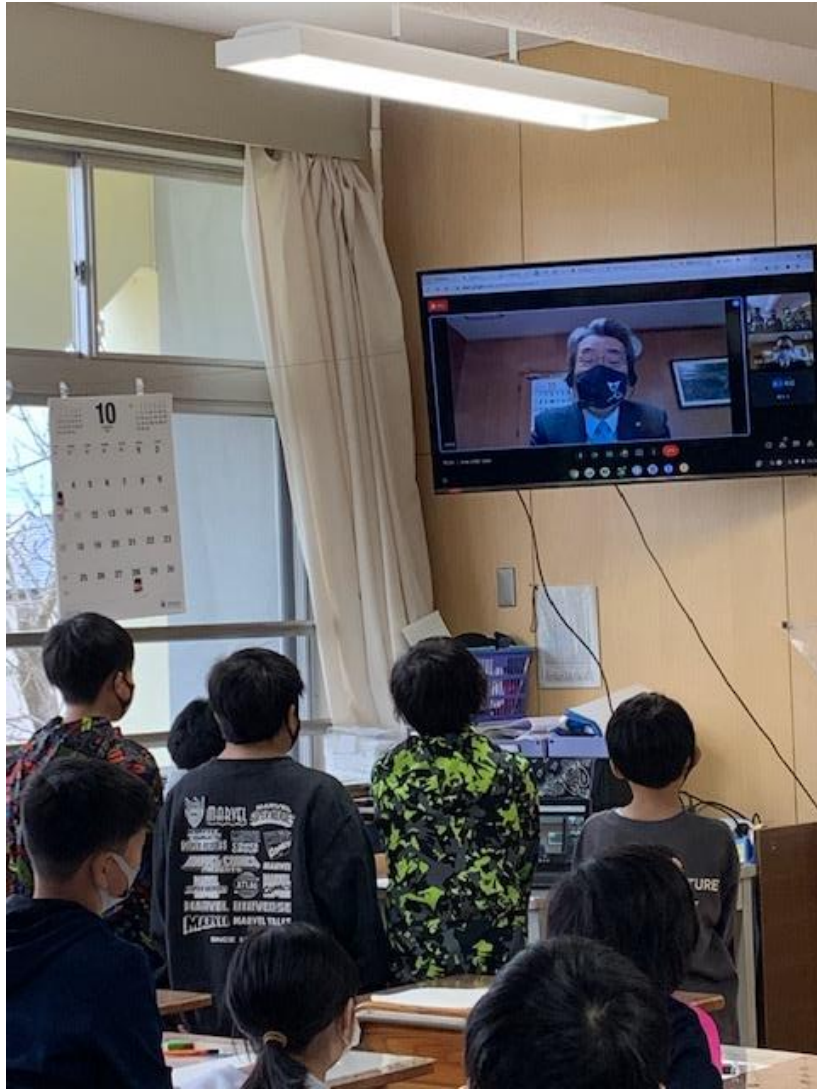
【R3.6.28開催】

対 象:全中学校1年生(約1,000名)
会 場:各中学校の教室(大型モニター)と
教育研究センターをオンラインで中継
パネラー:菅原 JC理事長、岡部 教育長
内 容:「何のために働くのか」をテーマに、JC理事長
と教育長が、それぞれの立場や経験を踏まえ、
働く目的と意義、中学生に伝えたいことなどについて
話題提供し、中学生と質疑応答



- ・ 社会で生きていくために、どのようなことをしたらよいか、どのような考えが必要かを学ぶことができた。
- ・ 時代の変化とともに、AI化などの職業の変化に不安を感じたが、AIに負けない、社会の変化に対応する力を身に付けたい。

昭和小におけるANA「Blue Monsters」 「釧路の魅力発見・発信」市長インタビュー【R3.11.8開催】

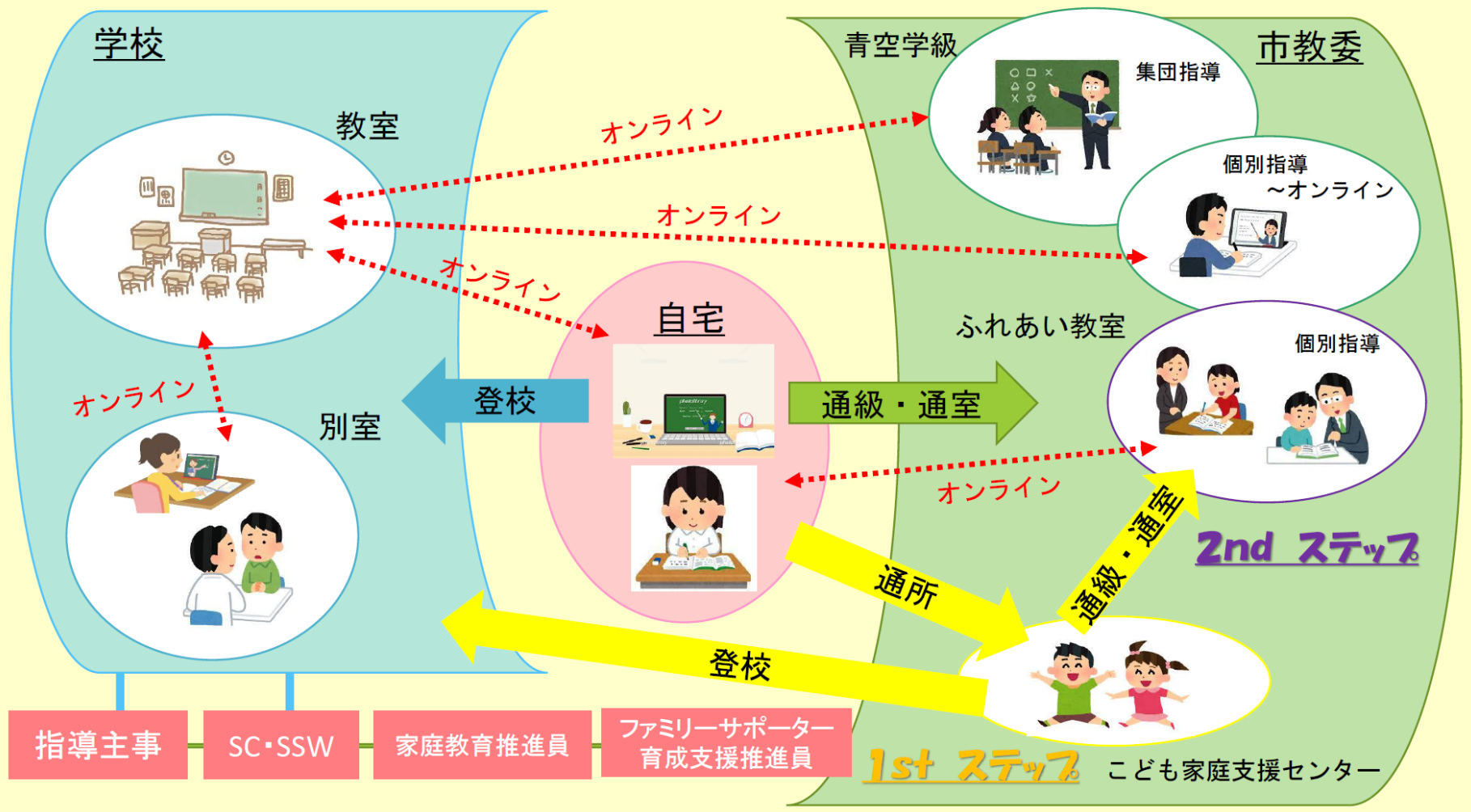


対 象:昭和小 5 年生(約130名)
会 場:各教室(大型モニター)と
市長室をオンラインで中継
内 容:「釧路の魅力」について、児童が「総合的な学習の時間」を活用し、観光スポットやイベント、食、人などを調査し、その内容をより深めるために、市長に対してインタビュー



不登校児童生徒支援

～全ての子供たちに居場所と学習保障を～



健やかな体の育成 ～たくましく生きるための健康や体力～

●食育の推進

学校給食における指導や栄養教諭等との連携を通じ、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けるよう食育の推進



栄養教諭による食育授業
(桜が丘中)



エゾシカ教室 (芦野小)



おさかな教室 (中央小)

●防災教育の充実

地震・津波等の自然災害の危険や日常の備えに関する知識を理解させるとともに、災害発生時に安全かつ的確に行動し、自らの命を守ることができるよう危険回避能力の向上



防災体験学習
(釧路小)



防災小説
(大楽毛中)

2. 家庭で育む「生きる力」

3. 地域との連携により
育む「生きる力」



家庭の教育力の向上・地域の教育力の向上

● 家庭の教育力の向上

家庭教育は全ての教育の出発点。子供に基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るなど「生きる力」の基礎的な資質や能力は、家庭において培うことが大切。

【家庭への働きかけによる取組み】

- ・「生活リズムチェックシート」を活用した基本的な生活習慣の確立
- ・「家庭教育講座」の開催
- ・各種相談窓口の開設や周知

● 地域の教育力の向上

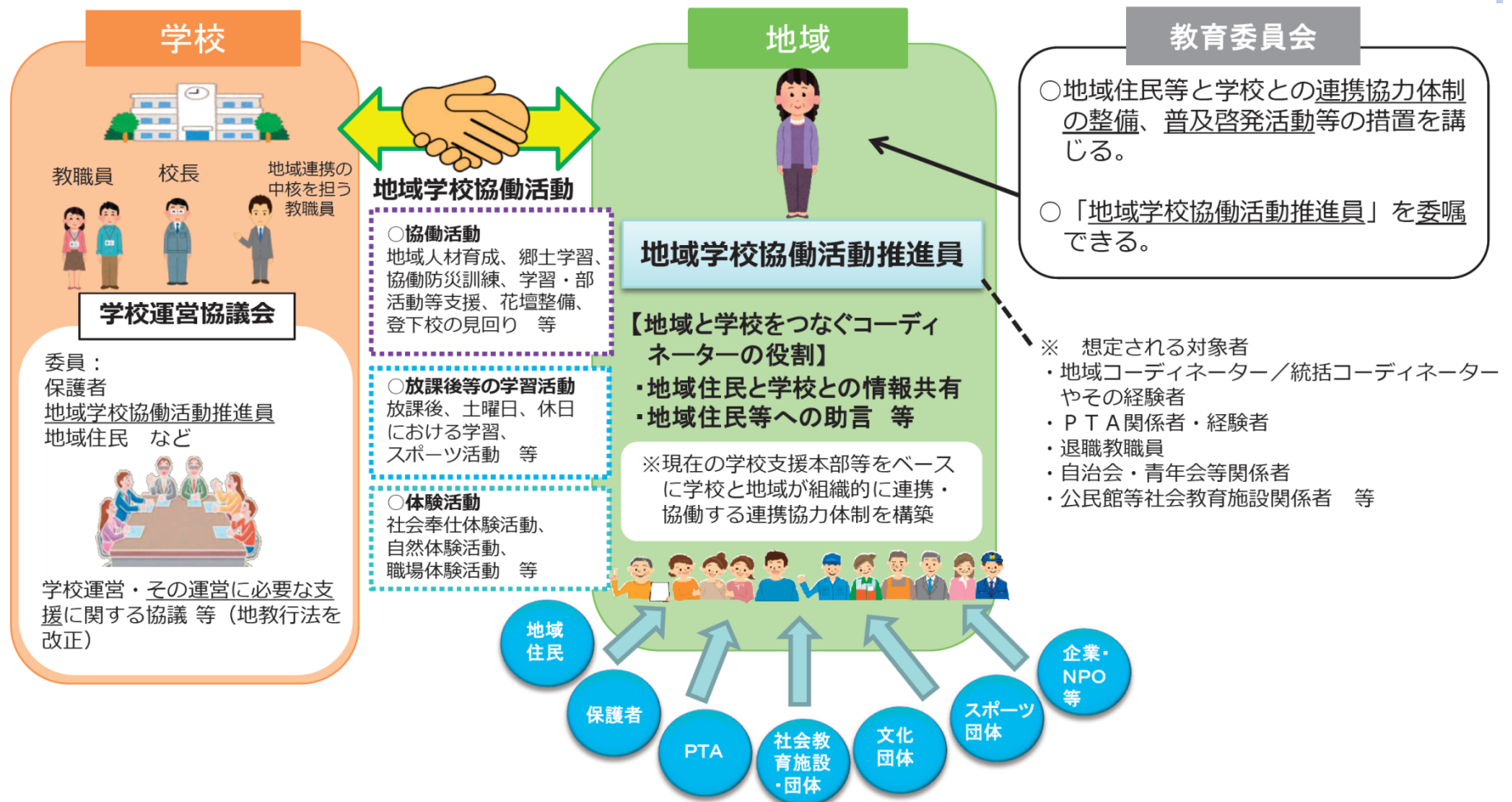
地域全体で子供を見守り育てていこうとする意識を高め、子供の教育に取り組む環境づくりを進めていくことが重要。

【地域住民等による子供を支える取組み】

- ・釧路市連合町内会との域校連携
- ・「こども110番の店」や登下校時見守り等、通学路の安全確保に向けた取組み

学校・家庭・地域の連携・協働の推進

●コミュニティ・スクールと地域学校協働本部



学校への「量的支援」 から「質的支援」へ 教育活動の充実

地域の教育資源である

ひと



こと



もの



をつなげ

学校を核とした

緩やかな「ネットワーク」づくり

地域学校協働
本部の展開